

卒業生に
仕事についての喜びや、
獨大生に向けてのメッセージを
語っていただきます。

大学時代の経験と決断が、挑戦を支える「スタート」になる

Nami Private English Coaching代表
佐藤 奈美さん(18年英卒)



私は今年の4月に英語のコーチングスクールを開校し、学生から社会人まで、幅広い生徒に指導を行なっています。「コーチング」とは、現在の学習レベル等を考慮しつつ、目標を達成できるよう日々サポートしていく指導法です。私の教室では、入校前に生徒の皆さんの目標と現在の習熟度をチェックし、教材や学習時間を決めてカリキュラムを設定しています。これに従い、数か月間進捗を確認しつつ指導をしています。「英語

を教える」というより、「英語の学び方を教える」教室です。当初、私は中学生の頃から得意だった英語を活用して働きたいと思い、国際的な物流企業を志望していました。しかし就職活動で複数の企業の採用面接を受け、物流の世界ではなく英会話学校のほうが自分に向いていました。悩んだ末、大学を卒業して英語教育の道に進むことを決め、英会話学校で1年、コーチングスクールで2年働きました。働いてみて、個別指導は指導料が高額になりがちであることを感じ、個人経営ならば手軽に学べる環境を創れるのではないかと現在の教室を開きました。教室の運営や経営についての知識はほとんどありませんでしたが、周囲の皆さんのご支援のおかげもあり半年で数多くの方々に入校いただいている。

カリキュラム通りに進めない、指導内容に納得できない、難しくてよくわからぬ、やる気が出ないなど、皆さんいろいろな悩みを抱えています。私はまず共感し、悩みを理解することを第一に考えます。次に、なぜ納得できないのか、どう改善すればいいのかを徹底的に話し合います。やる気が出ない場合は、私生活での悩みを聞くこともあります。私自身

が悩んだ経験なども話し、共感をもとに指導していきます。

在学生の皆さんには、毎日学ぶことのできる環境をあたりまえだと思わず、「今できる学問を精一杯楽しんでほしい」と思います。私自身もつとたくさんの授業を受けておけばよかつたと思うことがあります。英語の教授法や経営、経理についてなど、私のように思わずじりじり必要になるかもしれません。

就職活動も同じで、どの選択肢にその先の可能性が広がっているかわかりません。希望の職種でなくとも、そこで得たスキルからその先の人生がより良い方向へ進んでいくこともあります。就職は人生を決める大きな選択ですが、ゴールではありません。そこから新たな自分を知り、スタートすることができます。どうか獨大生の皆さんも、今の大学生活を輝かしい「スタート」を切るチャンスにしてください。



佐藤さんのある一日のタイムスケジュール

